



▼9月4日

園児がアマゴをつかみ取り



魚に直接触れて親んでもらおうと、若葉保育所のプールにアマゴ400匹が放たれ、子どもたちがつかみ取りに挑戦しました。これは、重信川漁業協同組合(本多義雄組合長)が4年に1度、町内で開催しているもので、今年は若葉保育所、白鶴保育所、岡田保育園の子どもたちが参加。子どもたちは、プールの中で素早く泳ぐアマゴを元気いっぱい追いかけていました。

▼8月24日

地域を照らす百八燈



上高柳地区で盂蘭盆の8月24日夜、「百八燈」が白鶴保育所の東、南北の道路で行われました。

百八燈は、百八の燈火をともして、故人を迎え、送る伝統行事です。

参加者は、幻想的な明かりの中を歩いて参拝。参拝後は、愛護部特製のきな粉おむすびを受け取り、上高柳集会所で同日行われていた盆踊りを楽しんでいました。

▼9月11日

大戦の戦没者に冥福



戦没者合同慰霊祭は、松前総合文化センターで行われ、遺族や関係団体の代表者などが参列しました。式辞に立った白石勝也町長は「戦争を知らない世代が増え、戦争の風化が懸念されている。未来に正しく引き継ぐことが私たちの責務」と挨拶。参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。遺族代表挨拶では、八束兼福さんが「それぞれが語り部となり、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継いでほしい」と呼び掛けました。

▼8月25日・26日

24時間チャリティーの輪



松前町体育協会主催の24時間チャリティースポーツカーニバルMASAKIは、松前公園で開催されました。日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して毎年行われているこのイベント。ソフトボールやバレーなど計18種目が24時間を繋ぐ形で行われ、スポーツと募金を通じてチャリティーの輪を広げました。集まった募金17万4,287円は24時間テレビへ寄附。この取り組みに対し、南海放送(株)からは感謝状が贈られました。